【農林水産研究指導センター　研究Now】vol. 157　　令和7年3月31日発表

活用が期待される県有種雄牛「幸照茂」

【研究のポイント】

種雄牛は肉質等の遺伝情報や体型・産子の枝肉成績等を総合的に評価し、選抜を行っています。この度、高能力母牛「ひろひめ」から生まれた種雄牛「幸照茂」の現場後代検定が終了したので、その成績についてお知らせします。「幸照茂」は、「繁百合（父：百合白清2）」の半兄弟で、「ひろひめ」に「美津照重」を交配し、幅広い利用が可能な但馬系種雄牛として造成しました。すでに県内での精液供給を始めており、R7年度からは全国販売を予定しています。次世代を担う種雄牛として期待されています。

幸照茂

血統：美津照重-百合茂-安福久-平茂勝

・去勢の枝肉重量が520.6kg、ロース芯81.2㎠、BMS№10.0と良好！！
・雌の枝肉重量が471.9kg、ロース芯87.6㎠、BMS№10.5，雌のBMS№10.5は歴代1位で母の系統を問わず、良好な成績を示した
・但馬系の種雄牛として、大柄な経産牛等への交配を推奨

【研究の成果】

○ゲノム育種価順位（R7.2.1現在）

形質	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS No.
順位	7	3	22	78	7	10

※歴代種雄牛および現場後代検定指定交配を開始した待機種雄牛100頭中の順位
※ゲノム育種価は（独）家畜改良センターで算出しており、他所の評価と直接比較はできない

○現場後代検定成績　　※赤字：歴代一位

性別	頭数	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.
去	9	520.6Kg	81.2㎠	8.9cm	3.1cm	76.6	10.0
雌	8	471.9Kg	87.6㎠	8.9cm	3.3cm	77.9	10.5

去勢　血統：美国桜-安福久-平茂勝
枝肉重量520.3kg、ロース芯面積106㎠
バラ厚9.6cm、皮下脂肪厚2.5cm
歩留基準値80.9、A5-12

去勢　血統：百合茂-安福久-平茂勝
枝肉重量495.1kg、ロース芯面積97㎠
バラ厚8.8cm、皮下脂肪厚2.7cm
歩留基準値79.3、A5-12

去勢　血統：諒太郎-福之国-安平
枝肉重量573.1kg、ロース芯面積97㎠
バラ厚10.3cm、皮下脂肪厚3.8cm
歩留基準値78.4、A5-12

【生産者の声】

弊社預託牧場では、県有種雄牛産子を中心に肥育を行っています。「幸照茂」は良好な成績が期待できる種雄牛であり、特に枝肉重量・ロース芯面積の改善効果が大きく、購買者に求められる枝肉づくりが可能であると思います。大分県畜産共進会や九州管内系統和牛枝肉共励会などの各枝肉共励会でも上位の成績が狙える肥育牛の生産を期待しています。これから、繁殖農家の皆様がこの種雄牛を多く交配し、子牛市場へ多数出荷していただくことを期待しています。

（株）大分県畜産公社　生産部　総括　衞藤　秀廣

【連絡先】

担当：農林水産研究指導センター畜産研究部　種雄牛チーム
TEL：0974-76-1214（問い合わせは企画指導担当へ）
住所：竹田市久住町大字久住3989－1